

いわき農林水産ニュース

令和3年2月号（第192号）発行 2月25日

ふくしまからはじめよう。

『食』と『ふるさと』新生運動ニュース



春を告げるフキノトウ。
独特の苦みもありますが、
天ぷらや味噌炒めなどおい
しくいただけます。

目次

- ・【特集】地域産業6次化 「高校生発！いわきテイクアウトメニュー開発」を実施しました！……p.1～
〔各種取組の実績（1～2月分）〕 ……p.5～
〔お知らせ・連載記事〕
- ・いわき地方の出荷制限等品目 ……p.8
- ・いわき地方の農林水産物モニタリング検査結果 ……p.8
- ・野鳥における高病原性鳥インフルエンザについて ……p.8
- ・GAPコーナー ……p.9
- ・6次化商品紹介 ……p.10

【特集】地域産業6次化

「高校生発！いわきテイクアウトメニュー開発」を実施しました！

地元高校生と飲食店・スーパーが共同開発！！

■「高校生発！いわきテイクアウトメニュー開発」とは？

当事業は、いわき産農林産物の魅力を広く発信するとともに、新型コロナウイルス感染症の影響により様々な困難に直面している飲食店や農家の皆さまを応援するため、高校生と飲食店・スーパー5店舗（以下、協力店とする。）がいわき産「トマト・きのこ・ねぎ・Iwaki Laiki（米・米粉）」をテーマ食材としたテイクアウト商品を共同開発し、広く提供するものです。

■オリジナルレシピの募集・選考により、高校生と協力店をマッチング！

協力店で販売するテイクアウト商品を開発するため、市内の高校生からいわき産農林産物を使用したオリジナルレシピを募集しました。市内の高校8校から52作品の応募があり、各協力店が書類審査を行い、商品開発を行う高校生とマッチングしました。

どの作品も高校生のフレッシュなアイデアがたくさん詰まった非常に素晴らしいものであったため、協力店では頭を悩ませながらの審査となりました。

■高校生と協力店が商品開発！

商品開発では、試作品の試食などを通じて味や色味、容器など高校生のこだわりを細部まで確認しつつ、協力店のアドバイスを踏まえながら1カ月間のブラッシュアップを経て、どの商品も高校生のアイデアが活かされ、食材の良さが伝わる素敵な商品に仕上がりました。



（料理長との打合せ（華正樓））



（中身の配置や容器の確認（マルト））



(根本所長挨拶)



(清水市長挨拶)

■開発商品をお披露目！

2月13日(土)、常磐共同ガス株式会社(p.9 地図参照)本社3階会議室において、開発商品のお披露目イベントを開催しました。

当日は、主催者である根本所長と来賓の清水いわき市長の挨拶の後、高校生と協力店が商品のPRを行いました。高校生からは「次々とアイデアが出てくるプロの実力に感心した」や「自分ではうまく調理できなかったが、料理人の工夫により理想の商品ができて勉強になった」など、協力店からは「高校生の熱意が伝わり、食べた方にも笑顔になってもらえるよう試行錯誤した」や「高校生の試作品は想像以上においしかった」などの感想が紹介され、商品開発を通じてお互いに刺激を受けたようです。

このほか、副賞としてJA 福島 さくらいわき地区本部様からいわきの特産物セット(いちご・Iwaki Laiki・トマトドレッシング・小白井きゅうりの味噌漬)、常磐共同ガス株式会社様からスパリゾートハワイアンズのペアチケットが高校生に授与され、会場は大いに盛り上がりました。

さらに、ふくしまFM「キビタンスマイル〜ふくしまからチャレンジはじめよう。〜」(2月18日(木)および2月19日(金)放送)やFMいわき「スマイルいわき情報局」(2月18日(木)放送)、福島中央テレビ「ふくしまチャレンジ情報館」(2月27日(土)放送)など各メディアが高校生と協力店にインタビュー取材を行いました。



(高校生・協力店らの集合写真)

■開発商品を協力店で販売！

2月15日(月)~24日(水)の10日間、実食キャンペーンを開催し、各協力店において開発商品を販売しました。どの店舗でも大好評で、リピーターが現れるほどの盛況ぶりでした。

また、全ての商品がキャンペーン期間終了後の3月上旬まで販売されていますので、まだ召し上がっていない皆さまは、この機会にぜひお買い求めください。

| 販売商品 | 考案者 | 販売店など |
|---|--|---|
|  <p>きのこシュウマイ</p> | <p>学校法人山崎学園 福島県磐城第一高等学校 1年 岩谷咲さん 宇羽野桜さん</p> | <p>販売店：中華料理 華正樓 税込価格：5個入り 600円 販売期間：3月7日(日)まで</p> |



| 販売商品 | 考案者 | 販売店など |
|--|---|---|
| <p>パワーみなぎる3色おにぎり</p>  | <p>福島県立磐城桜が丘高等学校 2年 滝若菜さん</p> | <p>販売店：株式会社マルト (いわき市内の各店舗) 税込価格：322円 販売期間：3月7日(日)まで</p> |
| <p>ネギだく和風パスタ</p>  | <p>福島県立磐城農業高等学校 3年 品川愛梨さん 土田亜美さん 山本瑠捺さん</p> | <p>販売店：酒と食の工房 ピッコロ 税込価格：950円 販売期間：3月7日(日)まで</p> |
| <p>金頭と米粉のハンバーグ</p>  | <p>福島県立いわき海星高等学校 1年 山中奈緒也さん 野口誠乎さん 佐藤忠登さん</p> | <p>販売店：ピストロ あん庵 税込価格：972円 販売期間：3月10日(水)頃まで</p> |
| <p>Iwaki Laikiと トマトのキッシュ</p>  | <p>福島県立いわき光洋高等学校 1年 小林瑞穂さん</p> | <p>販売店：ダイニングキッチン 月海-Ruu- 税込価格：600円 販売期間：3月7日(日)まで</p> |

■最後に

当事業にご応募いただいた高校生・関係者の皆さまやコロナ禍により大変な状況にもかかわらず、全面的にご協力いただいた飲食店などの皆さま、運営にご協力いただいた協賛・後援の皆さまに改めて感謝を申し上げます。なお、次ページには、本事業のお披露目イベントにご参加いただいた高校生や協力店、関係者の方々に行ったアンケート結果を掲載しております。

当所では、今後も発想豊かな高校生や確かな技術・知識を持った飲食店・スーパーの皆さまなど、いわき地域の方々からご協力をいただきながら、いわき産農林産物の魅力をPRするとともに、生産者・飲食店・量販店を応援してまいります。(企画部)



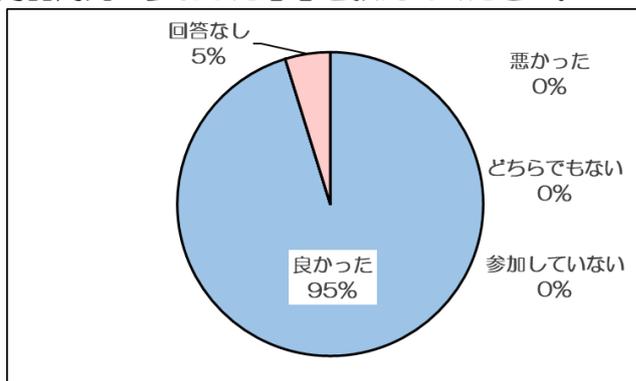
**「高校生発！いわきテイクアウトメニュー開発」お披露目イベント
参加者アンケート結果**

商品開発に参加した高校生と関係者（教員及び保護者）及び飲食店・量販店の担当者（以下、協力店とする。）の皆さまにアンケートを実施したところ、回答者全員が商品開発に参加して「良かった」と回答し、高校生や教員の皆さまからは、「新たな視点に触れる良い経験になった」などのコメントがありました。詳細については以下のとおりです。

なお、回答者数は 19 名で、その内訳は高校生 9 名、協力店 3 名、教員 6 名、保護者 1 名です。

■アンケート結果

(1) 商品開発に参加した感想を教えてください。



(2) 商品開発について、その他ご感想があればご記入ください。

| 回答者 | コメント |
|-----|---|
| 高校生 | 難しかったけど楽しかった。 |
| | 今回の企画に参加して、プロの料理人さんとたくさん話し合い、自分にはなかった発想をきくことができとても勉強になりました。この企画を考えて下さりありがとうございました。 |
| | まさか自分のアイデアレシピが採用されると思っていなかったもので、とても嬉しかったです。また、協力店の方々に色々お世話になって、よりおいしい商品を完成させることができたので、協力店の方々やこのテイクアウトメニュー開発に携わってくださった方々に本当に感謝しています！ありがとうございました！ |
| 協力店 | これからも、高校生を応援したいと思います。 |
| 教員 | シェフから色々なアドバイスをいただき、指導者としても大変勉強になりました。生徒も貴重な体験をさせていただいて楽しんでいました。ありがとうございました。 |
| | 日頃から調理等の活動に部活動としてがんばっている生徒たちが主役になる大変素晴らしい企画だと思います。採用して頂き、本当にありがとうございました。 |
| | テイクアウト用の方が工夫は必要かもしれませんが、今後も開発しやすいのではないかと思います。 |
| | みなさまにとっても感謝しています、ありがとうございました、生徒たちにも良い経験になりました。 |
| 保護者 | 小さなアイデアを商品に生かしていただいた協力店の皆さんに感謝します。地元産の食材をたくさん食べていただきたいです。 |

いわき市農林業賞表彰式

〔2月5日(金)〕

いわき市内郷のクレールコート（p.9 地図参照）において、いわき市主催による令和2年度いわき市農林業賞表彰式が開催されました。この賞は、いわき市の農林業の発展や農村社会の近代化に意欲的に取り組み、顕著な業績を上げている方を表彰するものであり、今年で44回目となります。



（受賞者と清水市長）

個人・団体の部では、トマトの養液栽培に取り組んでいるいわき小名浜菜園株式会社と林業家の阿部安政さんが表彰されました。いわき小名浜菜園株式会社は先進技術の導入や ASIAGAP 認証の取得などによる経営改善や環境に配慮した経営、障がい者雇用、風評払拭などに取り組まれてきたことが評価され、阿部さんは最新機械の導入による経営改善や後継者育成の取組が評価され、それぞれ受賞となりました。

青年の部では、水稻と露地野菜の複合経営の坂本和徳さんと水稻経営の小泉昌男さんが表彰されました。坂本さんは、地域の担い手として農地保全に対する貢献やバターナッツなどの西洋野菜の評価が高いこと、環境負荷の低減や安全・安心な農作物の供給、後継者育成の取組が評価され、小泉さんは農地集約の取組や地域の農業関連施設の維持、環境負荷の低減や安全・安心な農作物の供給、地産地消の取組、若手農業者の模範となっていることなどが評価され、それぞれ受賞となりました。

今後も地域農林業のけん引役として、更なるご活躍を期待しております。（企画部）

いわき地区山火事防止連絡協議会を開催

〔2月15日(月)〕

県いわき合同庁舎において、いわき地区山火事防止連絡協議会を開催しました。

いわき地区の令和3年山火事防止強化月間は、空気が乾燥して火災が発生しやすい2月10日～5月10日と、11月1日～12月20日が設定されており、令和3年はすでに6件の林野火災が発生していることから、この期間に関係各団体が例年以上に注意喚起等の活動を行うこと等が話し合われました。



（協議会の様子）

ひとたび林野火災が起きれば貴重な財産が失われることになり、失火の場合は森林法において森林の延焼に対する罰則規定があります。

また、消失した森林の回復には長い年月と多くの労力が必要となります。

山では「火を使わない」ことを心がけて、火事を起こさないよう十分注意してください。

（森林林業部）

瀬戸地区営農改善組合花卉園芸栽培推進講習会 [1月19日(火)]

瀬戸地区営農改善組合が瀬戸町公民館(p.9 地図参照)で花卉園芸栽培推進講習会を開催しました。当部の職員が講師を勤め、露地の切り花、花木、施設の切り花について品目紹介を行い、瀬戸地区営農改善組合が令和元年から栽培しているアスター及び新品目候補の小ギクについて、栽培方法を説明しました。参加者からは小ギクを収穫した後の株の管理について質問があがるなど、来年度に向けての高い意欲が感じられました。

来年度、瀬戸地区営農改善組合は引き続きアスターを栽培するとともに、小ギクの栽培も開始する予定です。当部では新たな花き産地形成に向け、栽培支援を続けてまいります。(農業振興普及部)

福島県農業士認定証交付及び福島県指導農業士退任者感謝状贈呈式 [1月28日(木)]

福島市の福島テルサにおいて、令和2年度福島県農業士認定証交付及び福島県指導農業士退任者感謝状贈呈式が開催されました。

当管内からは、渡辺町の中村彰宏氏が青年農業士に新たに認定されました。中村氏は、原木しいたけを中心とした営農を行っています。今後、地域を担う農業者として活動されることを期待しております。

また、渡辺町の高木茂寿氏及び同じく渡辺町の遠藤重和氏が指導農業士をご退任されました。お二人は、指導農業士として担い手の育成など長年の活動を行われ、当管内の農業振興に多大なご尽力をいただきました。今後、ますますのご活躍をお祈りいたします。



(内堀知事より認定証を授与された中村氏)

(農業振興普及部)

製材工場に対する労働安全巡回指導を実施 [1月29日(金)]

木材製造業における労働災害ゼロを目指して、関係機関が連携し、製材工場の巡回指導を行いました。

工場における労働災害は、通常の作業と異なる「非定常作業」(保守点検や故障等のトラブル対応)で発生しやすいことから、「点検作業は動力が確実に停止してから行うこと」や「機械の特性を作業員同士が共有しておくこと」等について、労働安全衛生指導員からアドバイスがありました。

また、参加者同士で意見交換を行い、「ヒヤリハット体験」や「労働安全向上のための工夫」(危険箇所の注意表示、防護カバーの設置等)について情報共有しました。



(巡回指導の様子)

木材製造業従事者の皆さまにおかれましては、指差呼称など基本動作の励行をよろしくお願いいたします。(森林林業部)

第4回「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーン [1月30日(土)]

マ尔特 SC 草野店 (p.9 地図参照) において、多くの消費者に認証 GAP の取組を紹介するとともに、GAP 認証農産物の販売促進を目的にイベントを実施しました。

当日は、検温や手指消毒など新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら、マ尔特 SC 草野店様の協力のもと、青果コーナーの一部にいわき産 GAP 認証農産物(8種、約 1,400 点)を陳列していただき、そのうち2点以上の商品を購入した方に認証 GAP に関するアンケートを実施しました。

アンケートにご協力いただいた方には、いわき産いちご「ふくはる香」(FGAP 認証品)といわき産いちごを使用した「いちごサイダー」をプレゼントしました。

消費者の皆さまからは、「今後は GAP 認証農産物を積極的に購入したい」、「認証 GAP のPRをもっと実施してほしい」といった声が多く聞かれました。

また、GAP 認証農産物全般の売れ行きが大変好調*であったことから、イベントによる周知効果は非常に高かったことがうかがえます。

当所では引き続き関係機関と連携し、いわき産農産物や認証 GAP の PR に取り組んでまいります。(企画部)

※イベント開催当日の様子



(認証 GAP について説明)



(プレゼントを渡す様子)



(GAP 農産物のコーナー (いわき産いちご))

トピック

四倉ホッキまつり

[1月23・24日(土・日)]

いわき市漁業協同組合四倉ホッキ組合では、道の駅よつくら港 (p.9 地図参照) で定期的に「四倉ホッキまつり」を開催しています。昨年度までは、ホッキ貝(殻付き)の直売とあわせて、ホッキむきを体験した人にホッキ貝(浜焼き)の試食を実施していました。本年度は新型コロナウイルス感染防止策のためホッキむき体験は見送り、ホッキむき講習会により魚食普及活動を実施しました。ホッキまつりは、開催回数を重ねる



(ホッキまつりの風景)

ごとに参加者が増加し、11月開催時は行列が全く途切れることなく、1,000個準備したホッキ貝があっという間に完売してしまうほどでした。残念ながら、ホッキ漁は2月から禁漁となるため、本年度最後の開催となりましたが、いわき産ホッキ貝の知名度の向上と消費拡大を図るため、ホッキ組合はホッキ漁が解禁となる6月以降も継続的に開催することに意欲を示しています。次年度の漁期も、皆さまのお立ち寄りをお待ちしております。(水産事務所)



(ホッキ貝の浜焼き)

お知らせ

いわき地方の出荷制限等品目

令和3年1月末日現在、いわき地方の農林畜水産物のうち、出荷が制限等されている品目は(表)のとおりです。

出荷制限等品目は、出荷・販売だけでなく、宿泊施設等での提供や加工用原材料として使用することもできません。また、自主検査等により基準値(100Bq/kg)以下であっても出荷・販売はできませんのでご注意ください。(企画部)

(表) 農林畜水産物の出荷制限等品目(令和3年1月末日現在)

| 制限、自粛 | 区分 | 品目 |
|-------|-----|--|
| 出荷制限 | 山菜 | たけのこ、ぜんまい、たらめ(野生のものに限る)、わらび(野生のものに限る)*、こしあぶら |
| | きのこ | 原木なめこ(露地)、野生きのこ |
| 出荷自粛 | 山菜 | さんしょう(野生のものに限る) |

*わらび(栽培)は該当生産者15名のほ場に限り出荷制限が解除されました。

いわき地方の農林水産物モニタリング検査結果(令和3年1月分)

□ 農林畜産物の検査結果

令和3年1月の農林畜産物モニタリング検査では、6品目16検体を検査し、全ての検体について放射性セシウムが基準値(100Bq/kg)を超えたものではありませんでした。内訳は(表)のとおりです。(企画部)

(表) 放射線セシウムが基準値以下の品目と検体数

菌床しいたけ(施設)8、エリンギ(施設)1、ネギ1、イチゴ(施設)2、牛乳3、原乳1

□ 海産魚介類の検査結果

令和3年1月の水産物モニタリング検査では、102検体の魚介類を検査し、全ての検体について放射性セシウムは検出されませんでした。(水産事務所)

野鳥における高病原性鳥インフルエンザについて

西日本・関東の一部の養鶏場を中心に、高病原性鳥インフルエンザの発生が非常に多くなっています。本県では養鶏場での発生はないものの、直近では2月8日に郡山市で死亡したオオハクチョウから高病原性鳥インフルエンザウイルス(H5N8亜型)が検出されており、いつどこで発生してもおかしくない状況となっています。

本ウイルスは、感染した鳥との濃密な接触などがなければ、通常人間には感染しないと考えられていますが、養鶏農家にとっては、一度発生してしまうと飼養鶏の全羽殺処分など経営に大きな打撃を受けるため、未然に防ぐことが重要となります。

また、感染拡大の要因として、野鳥の糞が靴の裏や車両に付くことにより他の地域へ運ばれる恐れがありますので、野鳥を追い立てたり、つかまえようとしたりするのは避けるとともに、靴で糞を踏まないよう十分注意してください。

もし、衰弱、または原因がわからずに死亡している野鳥を見つけた場合には、素手で触らないようにし、下記に連絡をお願いします。

【連絡先】いわき地方振興局県民部(TEL 0246-24-6203)

なお、野鳥での鳥インフルエンザについての注意事項等が県ホームページに掲載されています。

(自然保護課：<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/16035b/yatyouoriinnfuru.html>)

(農業振興普及部)

GAP コーナー

GAP (Good Agricultural Practice) : 「農業生産工程管理」

ふくしま。GAP チャレンジセミナーが開催されました 【2月8日(月)】

郡山市のホテルハマツにおいて、ふくしま。GAP チャレンジセミナーが開催されました。当セミナーは、内堀知事をはじめ、生産者、関係機関・団体が約 150 名出席し、また、講演内容は YouTube Live での生配信も行われました。内堀知事、菅野 JA 中央会代表理事会長による主催者挨拶、佐藤環境保全農業課長による県の取組などについての報告の後、講演に入りました。

株式会社 A and Live 代表取締役の高田代表がリモートで出演し、「伝える力。長崎から、福島の実産者にエール」と題し、基調講演が行われました。高田代表からは、「GAP の取組とネット通販は共通する部分がある。それは、伝えると伝わるは違うこと。生産者の GAP の取組を消費者にしっかりと伝えていくことで、GAP 農産物の消費拡大につながると思う」と、ご自身の経験を基にご講演をいただきました。セミナーの内容は、後日、GAP チャレンジ TV でアーカイブ配信される予定です。

いわき管内では、現在 34 件の認証取得数となっています(12 月末時点)。取得した生産者からは「従業員の意識が向上した」「農薬・肥料・生産資材の在庫が整理され、経営の無駄がなくなった」などの意見があがっている一方で、「消費者の理解が進んでいない」との意見も多くあります。

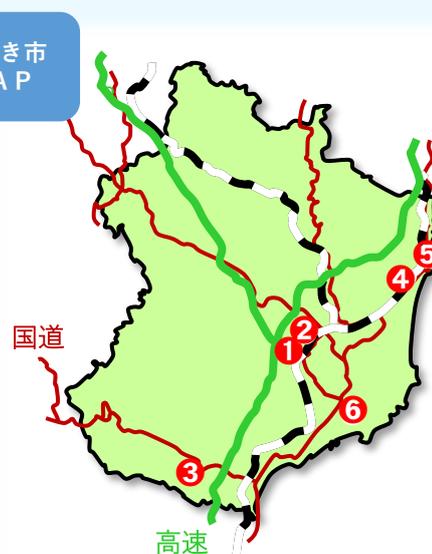
当部としても、農業経営改善の有効なツールとして GAP を推進していくとともに、消費者等への理解促進に向けた啓発活動を継続的に実施していきます。



(セミナーの様子)

今月号に掲載した場所はここです！

- ① 常磐共同ガス株式会社 (p.2)
常磐湯本町日渡 74-7
- ② クレールコート (p.5)
内郷綴町榎下 70
- ③ 瀬戸町公民館 (p.6)
瀬戸町東瀬戸 111-1
- ④ マルト SC 草野店 (p.7)
平下神谷仲田 120
- ⑤ 道の駅よつくら港 (p.7)
四倉町五丁目 218-1
- ⑥ 株式会社いわきチョコレート (p.10)
小名浜字丹波沼 61-1



こだわりと美味しさがつまった いわき自慢の6次化商品をご紹介します！

(株)いわきチョコレートでは、塩チョコレートをはじめとする洋菓子の製造・販売に取り組んでいます。

「ふくしま銘醸ショコラ」は、福島県が誇る日本酒をジュレに加工しチョコレートに閉じ込めた商品で、一粒ずつ手作りしています。日本酒は熱や砂糖を加えずにジュレにしているため、日本酒そのままの味を楽しむことができます。

「いち」は笹の川酒造の福島一辛口「いち」をピターチョコレートで、「いわきろまん」は太平桜酒造の甘口純米「いわきろまん」をミルクチョコレートでコーティングしています。パッケージは「枅酒」をイメージしたデザインになっています。

また、これらの商品は県産農林水産物を使用した6次化商品ブランド「ふくしま満天堂」で県を代表する商品を選出する「ふくしま満天堂グランプリ2020」において準グランプリとデザイン賞のダブル受賞をされました。

さらに、今後は銘醸ショコラの浜中会津の完成を目指して、只見町の米焼酎「ねっか」を使った新商品を発売予定です。

いわき駅店や福島県観光物産館などでお買い求めいただけます。ぜひご賞味ください！

【販売価格】4個入り 1,080円(税込)

柳沼代表取締役

ひとつひとつ丁寧につくっています

株式会社いわきチョコレート
住所：いわき市小名浜字丹波沼61-1
TEL・FAX：0246-53-5265
Web: <http://iwakichoco.com/>

所在地は p.9 のマップを参照



編集後記

今月は「高校生発！いわきテイクアウトメニュー開発」を特集しました。昨年 10 月から募集を開始した当事業ですが、ついに販売となりました！5 作品すべてテイクアウトして食べてみましたが、どの作品も高校生や協力店の思いが込められていて、とてもおいしかったです！

3月上旬まで販売しているので、皆さまもぜひ、いわきの食材の魅力がつまった商品をテイクアウトしてみてください！
(企画部 K)

◎ 皆様からのご意見・情報をお待ちしております。
福島県いわき農林事務所 企画部 地域農林企画課
〒970-8026 福島県いわき市平字梅本15番地
(県いわき合同庁舎 3階)
TEL (0246)24-6152 FAX (0246)24-6196
URL <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36270a/>



いわき農林水産ニュース